

長浜市森林ディレクション審議会（平成28年度第1回）要点録

【日時】 : 平成28年5月30日（月）10:00～12:00

【場所】 : 長浜市伊香森林組合

【出席委員】 委員9人（敬称略）

特定非営利活動法人妙理の里 片山 由文

内保製材株式会社 川瀬 文明

長浜市伊香森林組合 高橋 市衛

滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科 高橋 卓也

公募市民 藤井 克博

滋賀県猟友会北部有害鳥獣捕獲組合 藤田 和司

伊香具山友会 横関 隆幸

長浜市森づくりクラブ 横田 光代

滋賀県湖北森林整備事務所 原 滋治

市 5人

森林整備課 大澤課長（事務局）

森林整備課 永井課長代理（事務局）

森林整備課 花澤主幹（事務局）

森林整備課 松本主幹（事務局）

農林課 藤田課長（オブザーバー）

【議事概要】

- (1) 長浜市森づくり計画アクションプランの進捗状況等について
花澤主幹より資料1～4を基に説明。
- (2) 平成28年度事業計画について
永井課長代理より資料5を基に説明。
- (3) 事業評価計画について
花澤主幹より資料6～8を基に説明。
- (4) 今後のスケジュールについて
次回開催日時等の調整

【議事録】

- ・永井課長代理：平成28年度第1回長浜市森林ディレクション審議会開催について挨拶
- ・大澤課長：あいさつと審議事項について説明
- ・花澤主幹：資料1から順に長浜市森づくり計画アクションプランの進捗状況等について説明

●長浜市森づくり計画アクションプランの進捗状況等について質疑応答

- ・住宅に市産材を活用した場合の補助要件は？

⇒新築の住宅等に対して、5㎡以上の市産材利用を条件に、20,000円/㎡の補助となります。補助金の上限額は30万円となります。

- ・素材生産量が増えた要因は？

⇒管内の森林組合が数値目標を掲げ間伐に取り組んでいることと、高性能林業機械の活用が要因と考えています。

- ・素材生産性の数値が低いのではないかと。

⇒滋賀北部森林組合と長浜市伊香森林組合の実績を按分して数値を出しています。

- ・実情を掴むなら面積シェアで案分した方が良いのではないかと。

⇒数値の算出方法について検討します。

- ・地域おこし協力隊3人が定着してもらえる政策や組織を作ってもらえると山の管理等をしてもらえるのではないかと。

⇒余呉町菅並をフィールドに林業をベースに定住を目指していますが、林業のみでは厳しいため、農業等との副業型が理想だと思います。地元との関係や施業地の確保といった点も踏まえ、3人から意向を聞き取りながら、定住に向けて取り組みを進めていきます。

3人の成功なしには次のステップはないため、ぜひ成功させていきたいと思っています。

- ・木質バイオマスボイラーの導入については？

⇒候補となる施設が3カ所ありますが、健康パークあざいでの導入を検討しています。他に、己高庵はボイラーの設置スペースに課題があるほか、湖北病院については、施設全体の修繕計画を踏まえながら検討していく必要があると考えています。

●平成28年度事業計画について質疑応答

- ・川上、川下の計画についてはわかったが、川中のことがあまり検討されていないようである。木材生産について市の目標はどのようなのか。

⇒川中対策が課題であると認識しています。製材等のA材に付加価値を付けていくことが課題となっており、まずは、市内の製材所等の状況や意向を把握するため、ヒアリングを行っていききたいと考えています。

●平成27年度 長浜市森づくり計画アクションプラン（実績概要）を基に各役員から意見を聴取

（1）森林の大切さの啓発と魅力の発信

- ・ウッドスタート：園からのフィードバックが必要ではないか？
- ・目標がほとんど達成できてよかったと思う。

（2）市民が参画する森林づくり

- ・里山リニューアル事業で作業道作りを並行してほしい。

（3）次代の森林を支える人づくり

- ・地域おこし協力隊推進事業：林業と副業で生活費を確保し、確実な定住を目指す。
- ・地域おこし協力隊の評価指数は採用で良いのか。
- ・自伐林の定義が難しく、人によって作業量が違うため、線引きがわからない。指標として適切か。

（4）森林資源の利用拡大

- ・木質バイオマスボイラー導入事業：3施設を目標に導入を安定させてより大規模なものを目指す。
- ・木くず等を使って発電ができると思う。
- ・薪市場、ストック販売、集積、販売のPR。
- ・使用していない公共施設を森の駅として考えてはどうか。
- ・木質ボイラーにバージンチップを使ってみてはどうか。薪の配達が課題であると考えており、県下では薪の配達にNPOを利用している人が多い。私の所属しているNPOも年間30tのペレットを配達している。
- ・素材生産量が約2,000㎡に増やすことができたところがあるが、出口戦略はあるのか。
- ・木質バイオマス施策は良いと思う。

（5）効率的な木材生産

- ・主伐も追加してほしい。
- ・年材が進むと間伐の補助対象外になってしまうが、木材が増えているため、補助金を出してほしい。
- ・境界確定をするために県、市も本腰を入れて取り組んでほしい。
- ・地元を離れている者が多く、間伐等を行う際に同意書が取れないため、県や市で同意書が取れなくても事業が進められる仕組みを作してほしい。
- ・製材加工機の導入補助。
- ・木材生産加工が進めば、売りやすくなるのではないか。
- ・施業計画は効いているのか。

- ・自治会役員の照会では指標として物足りない気がする。

(6) 多様な森林づくり

- ・高島市では捕獲したシカを食材にする仕組みがあるようなので、市でも有効活用できる条例等を作成してほしい。

- ・アウトカム指標で問題の把握が川上しか出来ていないようであるが、評価はこれで良いのか。

●**次回開催日時：7月28日（木）午前10時から2時間程度**

会場：高山キャンプ場

- ・次回の会議で資料8のシートを使用するため、評価シートの提出を依頼した。

- ・今週中に資料8のシート（A3サイズ）を各役員に送付する。

●**会議終了**